注意事項

設置上の注意
①エアリーを４Ｆ以上の高所に取付する場合、及び、風の強い場所への取付は、補強を必要とします。
②エアリーを手摺としては使用しないで下さい。

施工上の注意
①2,000mm以下のピッチで柱または方立を取付して下さい。
②柱を躯体に取付ける際は、コーキング材（別途手配）を下穴に十分注入してからネジ等を閉めて下さい。
③当社指定の取付金具で施工して下さい。
④取付は専門業者にて行って下さい。

使用上の注意
①エアリーの上に乗ったり身を乗り出さないで下さい。
②エアリーに強い衝撃を与えないで下さい。
③踏み台や足掛かりになる設置物を置かないで下さい。
④年に一度はネジ、ボルトの緩みや劣化が生じていないか点検をして下さい。
⑤製品に電線を巻きつけないで下さい。漏電により感電する恐れがあります。

メンテナンス

腐食の最大の原因は、大気中にあります。
大気中の汚れには　①ほこり　②すす（ばい煙）　③鉄などの金属粉　④亜硫酸ガスなどの排気ガス　⑤海塩などがあります。これらがアルミの表面に付着し、そのまま放置しておくと空気中の湿気や雨水の影響を受けてアルミを腐食させてしまうことがあります。

年に1～2回の水洗いで腐食は防げます。
アルミを腐食から守る最も効果的な方法は、定期的な水洗いです。年に1～2回の水洗いと空拭きをするだけで大きな効果をもたらします。汚れのひどい工業地帯や海岸の近くでは、状況に応じて回数を増やして下さい。

建物の立地条件と清掃の頻度
基本的には汚れが目立つ前の清掃をお勧めします。あくまで参考としてご覧下さい。
臨海工業地帯・・・5～6回／年　　海岸・工業地帯・・・4～5回／年
市街地・・・2～3回／年　田園地帯・・・1～2回／年

※メンテナンスには布やスポンジなどの柔らかいものを用い、金属製ブラシや金ベラの使用は避けて下さい。
※洗剤は、必ず中性洗剤をうすめて使用して下さい。
※小石、砂などが付着したままこするとアルミ表面に傷がつきます。あらかじめ取り除いて下さい。

汚れの軽い場合
水でぬらした布で拭き、空拭きして下さい。

汚れのひどい場合
中性洗剤をうすめた液で汚れを落とし、洗剤が残らぬよう水洗いして下さい。その後、空拭きをして下さい。

汚れが著しくサビが出ている場合
中性洗剤をつけた「研磨粒子つきスポンジ」、または目の細かい紙ヤスリで軽くこすり、汚れやサビを取り除きます。その後、水洗いし、空拭きをして下さい。

保証書

保証者	森田アルミ工業株式会社
保証の対象者	住宅の所有者
対象商品	森田アルミブランドで販売しているエクステリア商品
保証内容	通常の取り扱いによって生じた品質不良、性能、および機能の低下によるもので、かつ当社が認定したもの。
保証期間	当該商品の取り付け完了後2年間。
免責事項	原因が次のような場合は、保証期間であっても有償修理となります。 （イ）環境が特に悪い場所に取り付けられたもの。 （たとえば塩害や大気中の砂塵や煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどの反応物質が付着して起こる腐食、高温、低温、多湿による損傷や故障） （ロ）保証者の表示した取り扱いから逸脱したもの。 a.モルタル（アルミに接触する部分）に海砂や急結剤を使用 b.中性洗剤以外のクリーニング剤を使用 c.塩分などを含んだ木材を使用 d.施工指示通りに施工がなされていない（コーキング等） （ハ）使用者もしくは第三者の故意、過失、または不当な修理や改造によるもの。 （ニ）保証者が表示した以上の性能を必要とする箇所に取り付けられたために発生したものや本来の使用目的以外の用途に使用されたもの。 （ホ）不可抗力（天災、地変、地盤沈下、火災、爆発、騒乱、落雷、異常電圧等）により発生したもの。 （ヘ）当社供給範囲外のもの。（波板等）

以　上

morita　森田アルミ工業株式会社　〒599-0201 大阪府阪南市尾崎町530-1　Tel　072-480-1400 / Fax　072-480-1414　URL　www.moritaalumi.co.jp

202407

morita

AIRY

目隠しフェンス　エアリー

AIRY

目隠しフェンス　エアリー

プライバシーを守ると幸せが増える。

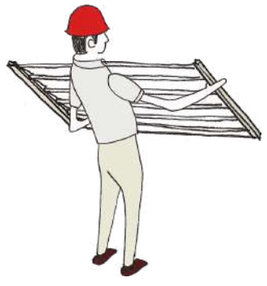
「近隣の方に対しても、気持ち良く、自邸のプライバシーを守る。」
これは快適に暮らすために私たちがいつも気にかける問題です。
その一見矛盾する問題を解決するためには二つの条件が必要です。
ひとつは、視線を遮る目隠しの機能。そして、もうひとつは近隣へも採光・通風を妨げない開放性。
長く気持ち良く暮らすためにはどちらの条件も欠かすことができません。エアリーは、このプライバシーと開放性を両立するバランスのとれた目隠しフェンスです。

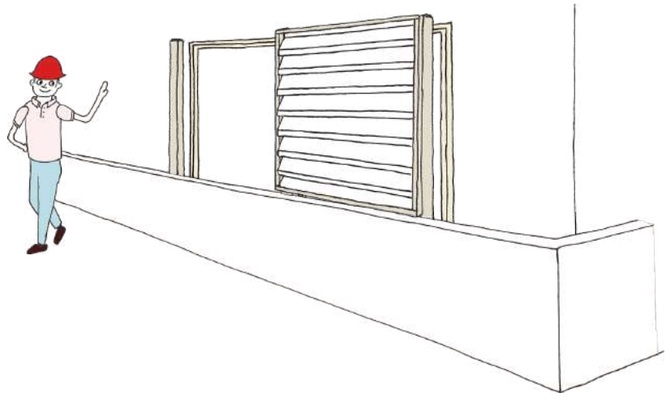
1

見晴らしのいい大きな窓でも
外からの視線が気になって、
カーテンを閉めてしまいます。

2

そんなときはエアリーの出番です。





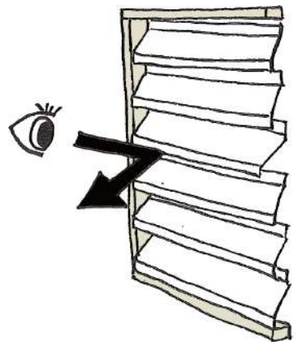
3

視線はカットされても、
外から自然な光が入ってきます。
もちろん、自然な風だって吹いてきます。

だから、安心してカーテンが開けられます。

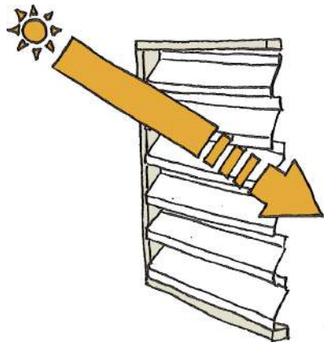
特徴

目隠し



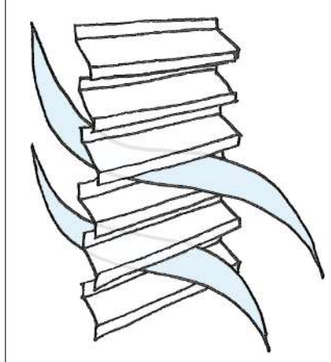
ルーバー素材の表面がエンボス加工されているので、外部からの視線をカットしてくれます。

採光



ルーバー素材が透過性のため、内部に自然な光を取り込んでくれます。

通風



ルーバーの隙間から風が通るため、自然な風を取り込んでくれます。

本体カラー

本体：アルミ・アルミアルマイト仕上げ

ブロンズ　ホワイト　ブラック　ステンカラー

オーダーメイド

エアリーはオーダーメイドですので、建物のフォルムやお客様のニーズに合わせた設置が可能です。
敷地間の境界フェンスとして、また視線カットを兼ねた建物のファサードとしても支持を頂いています。
また、様々なケースに対応できる取付金具を規格品として取り揃えておりますので、施工もスムーズで、価格もリーズナブルです。

ルーバー素材

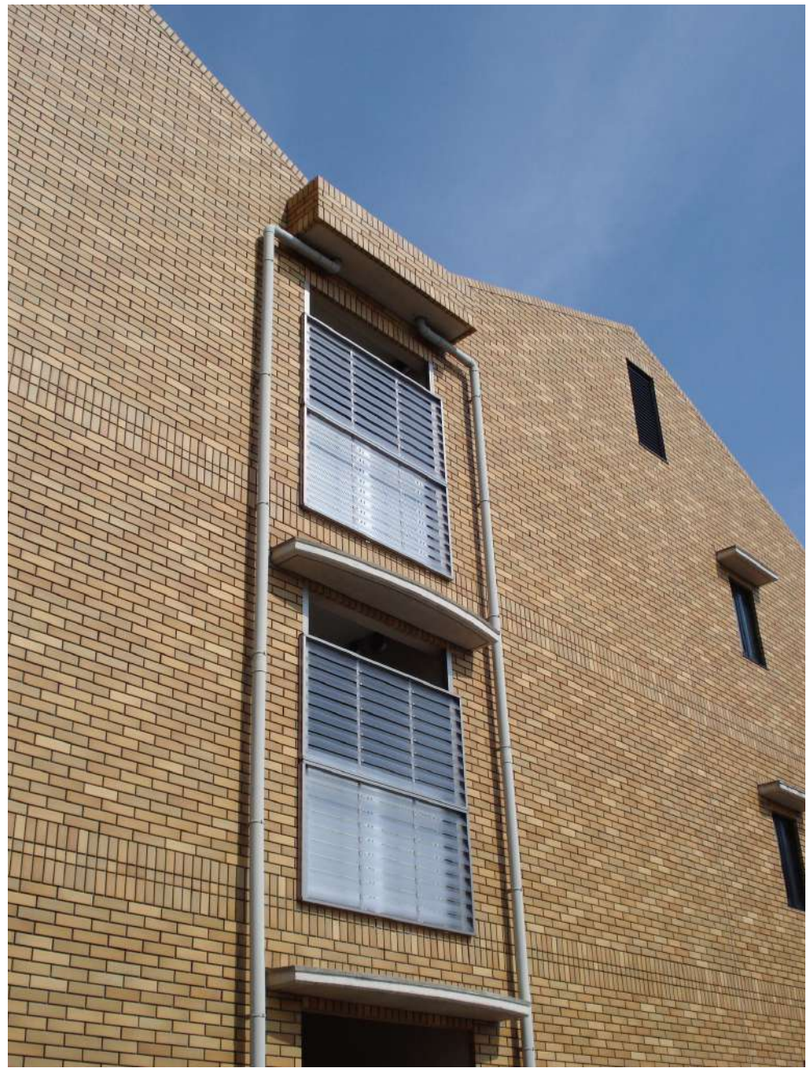
クリアマット

ルーバー素材はポリカーボネート製。衝撃に強いだけでなく、
自己消化性（火元が離れれば自然に火が消える）を持つ安全性の高い素材です。

AIRY 1

リビングに面したバルコニーに設置されたエアリー。プライバシーを守りつつ、採光・通風を確保しています。バルコニーをエアリーで囲んだことで、バルコニーをリビングの一部 (プライベート空間) として取り込むことができました。(強度確保の為、柱に補強が必要となります)

AIRY 2



マンション共用部の開口に合わせて設置されたエアリー。外部からの視線をカットすると同時に、廊下を暗くすることなく、柔らかい風だけを取り込みます。目隠しと同時に、転落防止を兼ねたフェンスとしての役割も担っています。

AIRY 3

戸建住宅に面する集合住宅の廊下に設置されたエアリー。戸建住宅、集合住宅双方のプライバシーを確保しながら、外部に対して気配を知らせることで廊下の安全性にも考慮しています。

4 採光を妨げないから物干しスペースに。

5 隣地との境界にも。

6 目線の高さだけ視線を遮る。

7 お互いのプライバシーも守る。

8 壁のように囲っても、採光、通気を確保。

9 庭らしさも大切にする。

エアリー　窓用タイプ

ブロンズ　ホワイト　ブラック　ステンカラー　※窓用タイプにはブラケットが含まれます。

H ＼ W	ブラケット	455mm	610mm	910mm	1340mm	1820mm	2000mm
263mm	4	すべてオープン価格となっております。					
363mm	4						
463mm	4						
563mm	4						
663mm	4						
763mm	4						
863mm	4						
963mm	4						
1063mm	6						
1163mm	6						
1263mm	6						
1363mm	6						

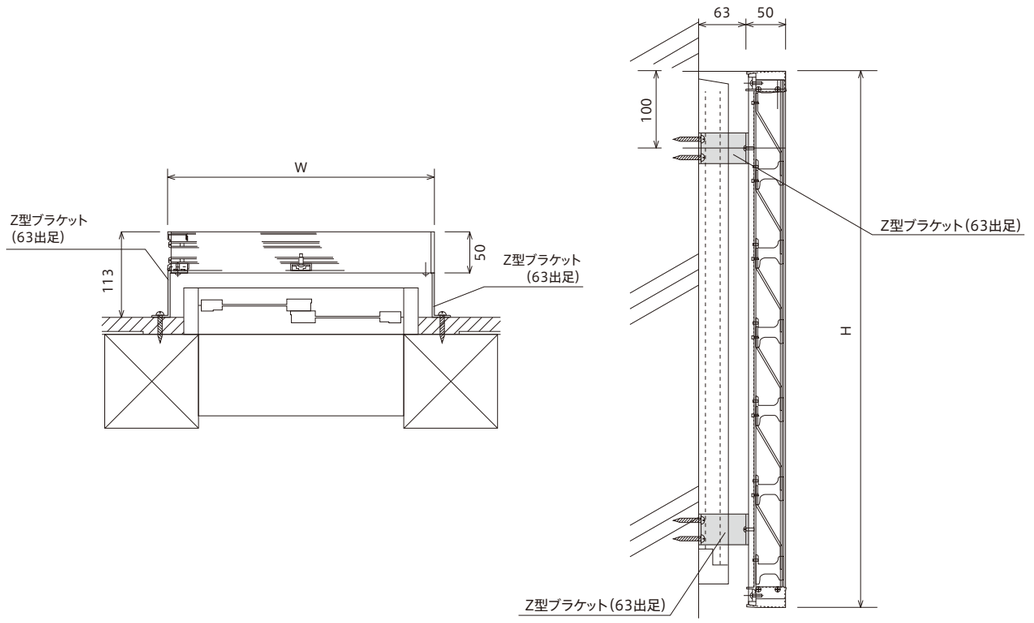
エアリー　フェンスタイプ

ブロンズ　ホワイト　ブラック　ステンカラー　※フェンスタイプにはブラケットが含まれませんので、別途ご注文下さい。

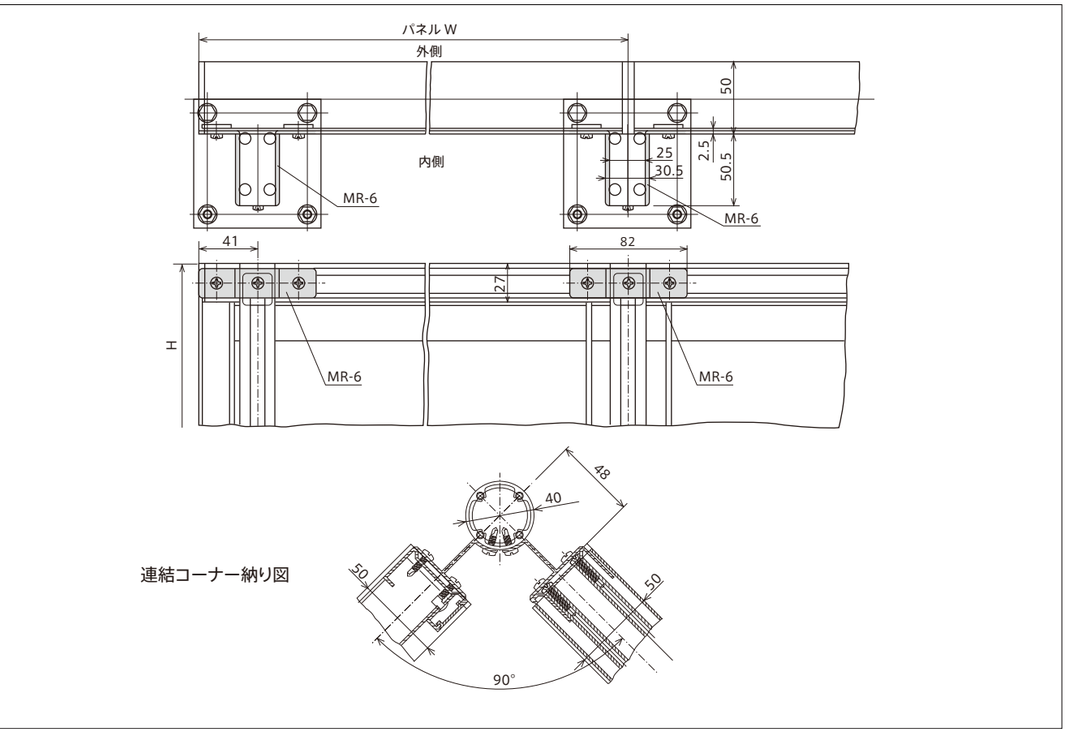
H ＼ W	455mm	610mm	910mm	1340mm	1820mm	2000mm
263mm	すべてオープン価格となっております。					
363mm						
463mm						
563mm						
663mm						
763mm						
863mm						
963mm						

エアリー　納り図

窓用タイプ



フェンスタイプ



柱

ブロンズ　ホワイト　ブラック　ステンカラー

タイプ ＼ H	H513	H613	H713	H813	H913	H1013
プレートタイプ					—	—
ケミカルアンカータイプ	すべてオープン価格となっております。					
埋込タイプ						

タイプ ＼ H	H813	H913	H1013	H1113	H1213	H1313
持出タイプ	すべてオープン価格となっております。					

タイプ ＼ H	H1200	H1300	H1400	H1500	H1600	H1700	H1800	H1900	H2000	H2100
方立タイプ	すべてオープン価格となっております。									
横付タイプ										

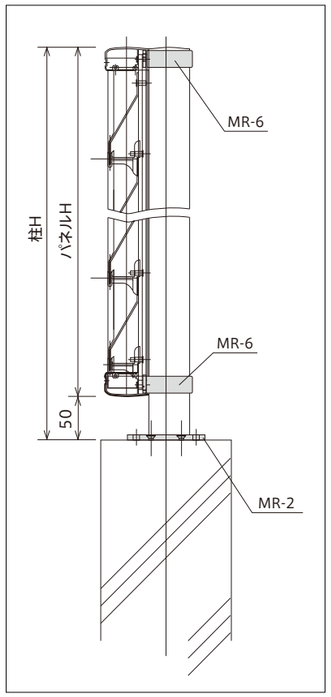
丸柱

ブロンズ　ホワイト　ブラック　ステンカラー

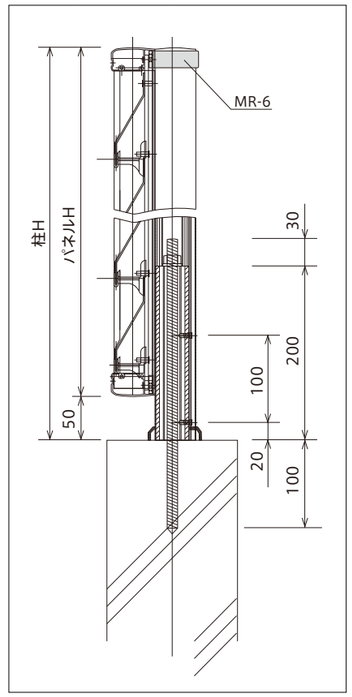
タイプ ＼ H	H463	H563	H663	H763	H863	H963
コーナータイプ	すべてオープン価格となっております。					

納り図

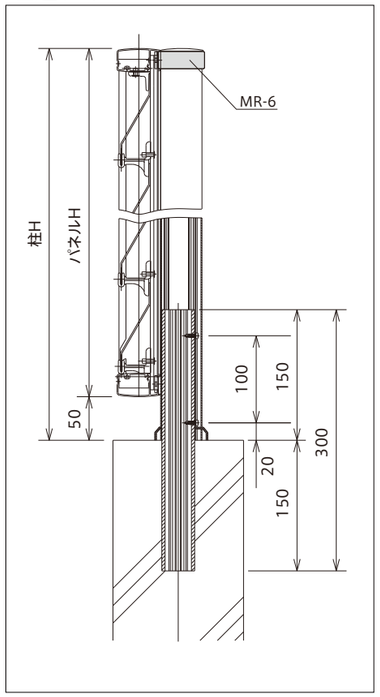
プレートタイプ



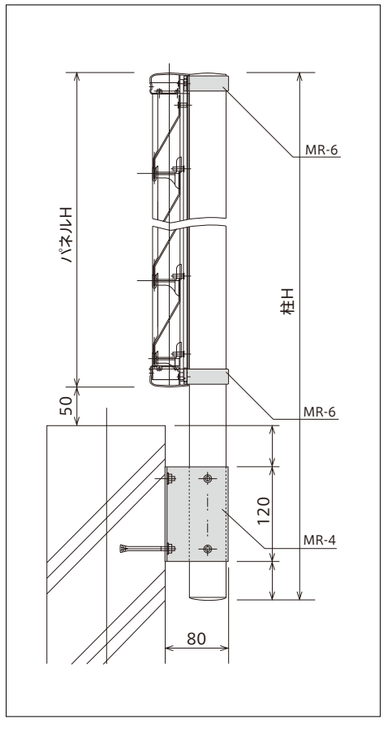
ケミカルアンカータイプ



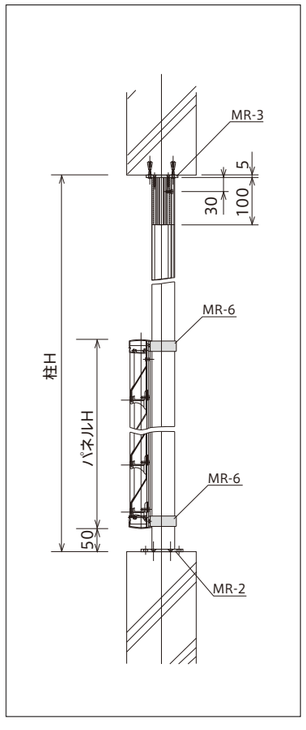
埋込タイプ



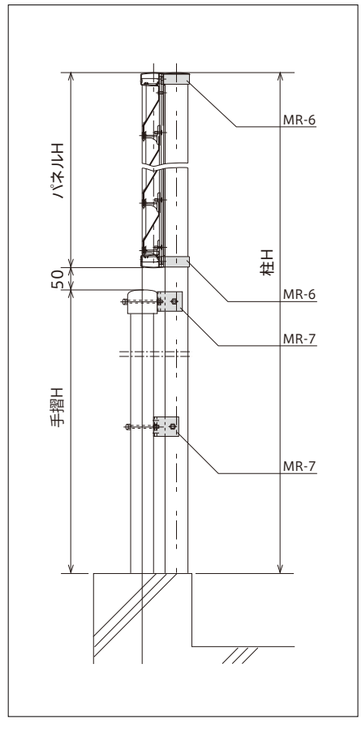
持出タイプ



方立タイプ

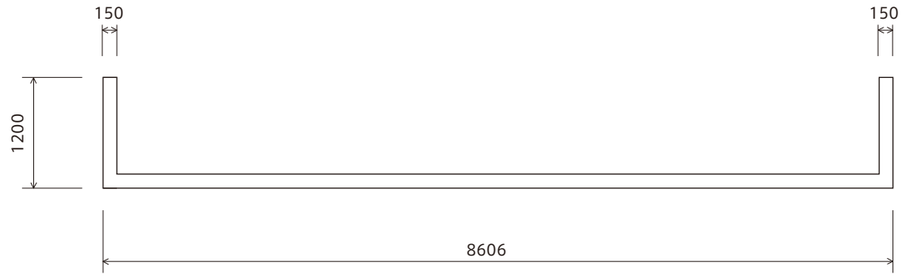


横付タイプ



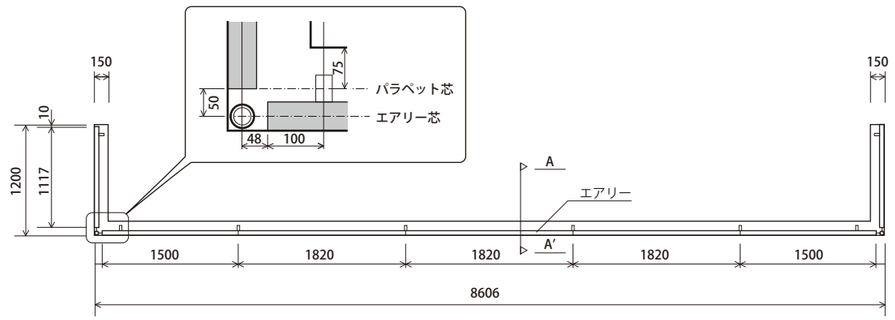
エアリー　割付方法

下図のパラペットにエアリーを取付するには、①～④の割付方法があります。



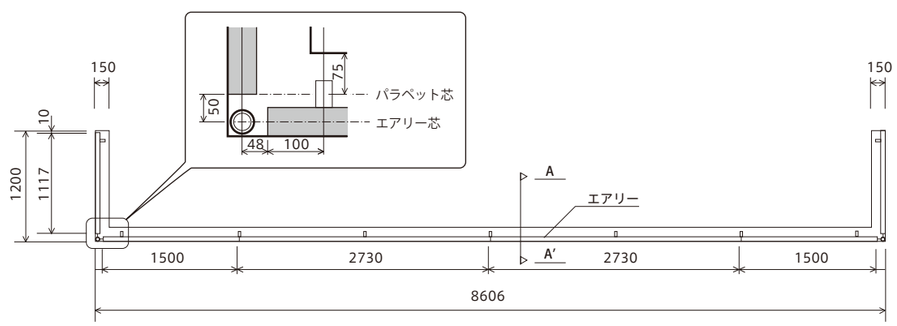
割付方法①

パラペットのセンターに柱を取付し、1820mm の規格品のエアリーをセンターに割付し、
両端に端数のエアリーを割付します。



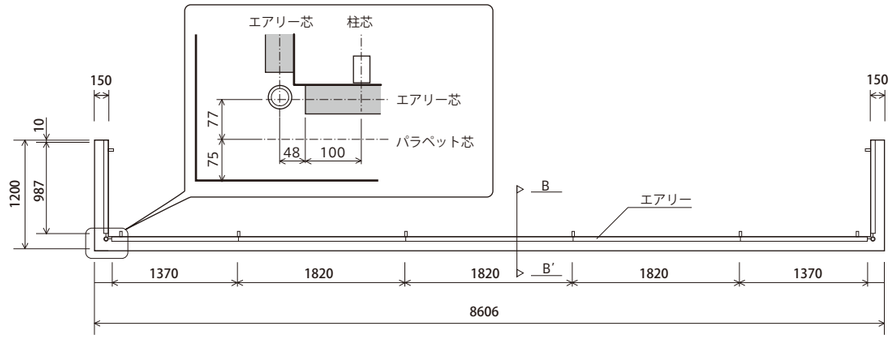
割付方法②

パラペットのセンターに柱を取付し、2730mm の規格品のエアリーをセンターに割付し、
両端に端数のエアリーを割付します。



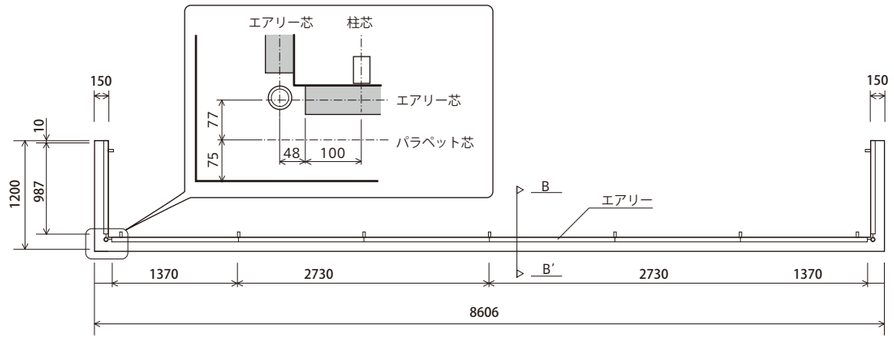
割付方法③

パラペットの内側に柱を取付し、1820mm の規格品のエアリーをセンターに割付し、両端に端数のエアリーを割付します。

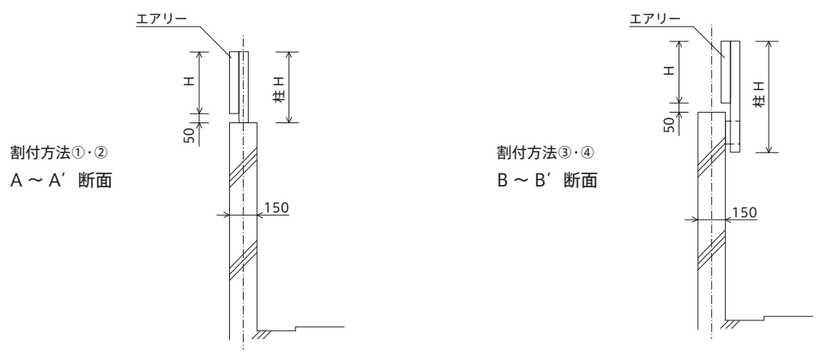


割付方法④

パラペットの内側に柱を取付し、2730mm の規格品のエアリーをセンターに割付し、両端に端数のエアリーを割付します。



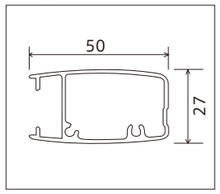
断面



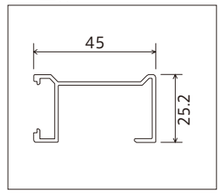
割付方法

エアリー部材

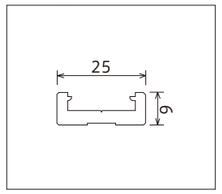
MR笠木



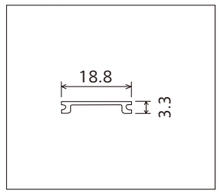
MR立枠



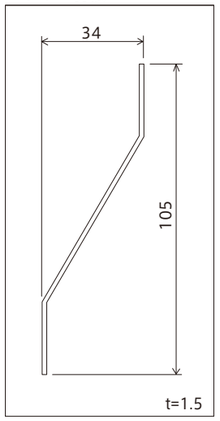
MR中桟



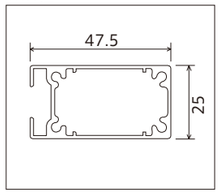
MR目板



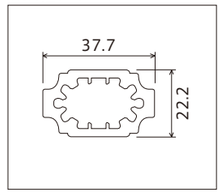
エアリー羽根



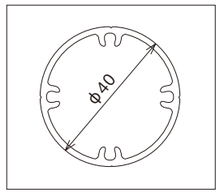
MR柱



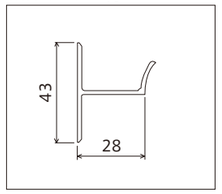
MR柱スリーブ



MR丸柱

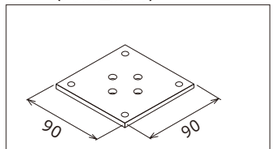


MRコーナー材

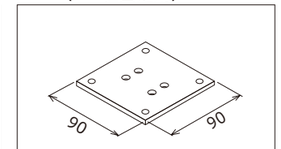


エアリー部品

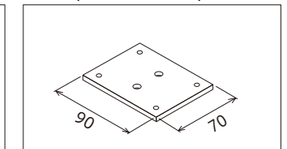
MR-1(丸柱固定用)



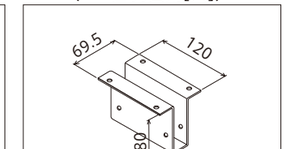
MR-2(MR柱固定用)



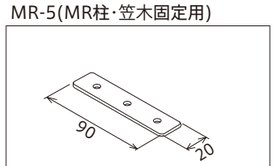
MR-3(MR柱ジョイント用)



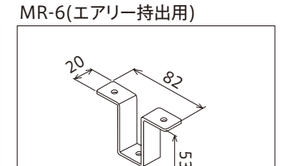
MR-4(MR柱 持出用[大])



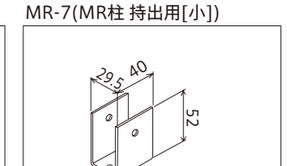
MR-5(MR柱･笠木固定用)



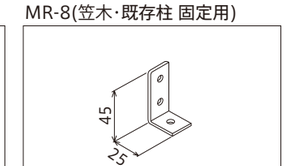
MR-6(エアリー持出用)



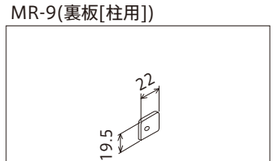
MR-7(MR柱 持出用[小])



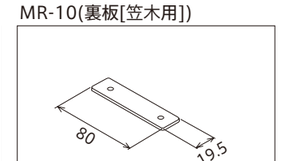
MR-8(笠木･既存柱 固定用)



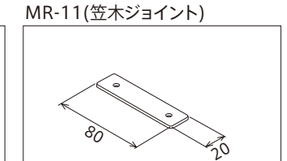
MR-9(裏板[柱用])



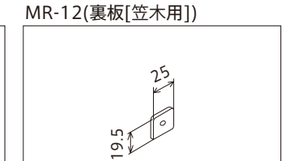
MR-10(裏板[笠木用])



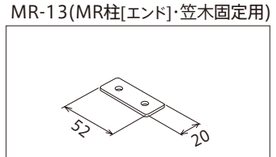
MR-11(笠木ジョイント)



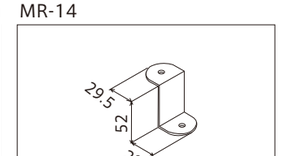
MR-12(裏板[笠木用])



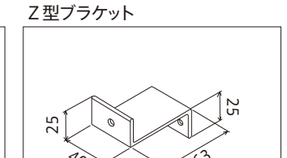
MR-13(MR柱[エンド]･笠木固定用)



MR-14

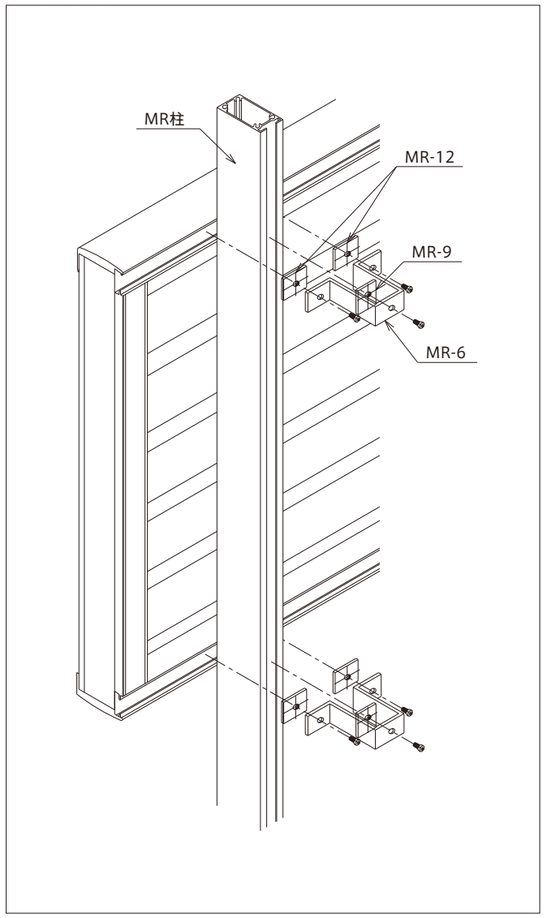


Z型ブラケット

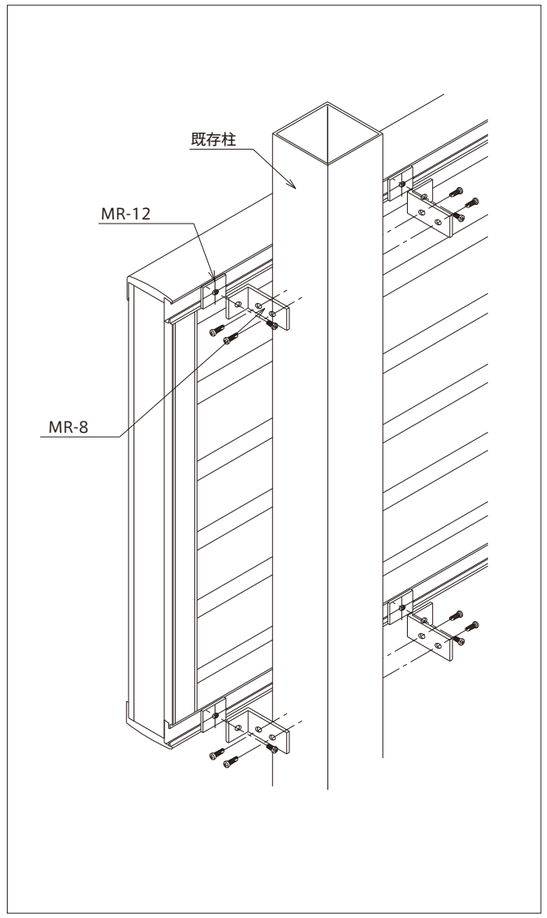


エアリー　ブラケット使用図

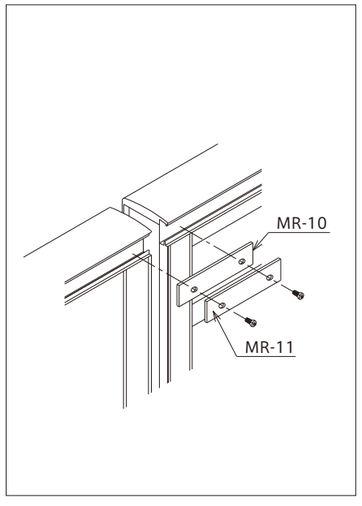
MR 柱ー持出



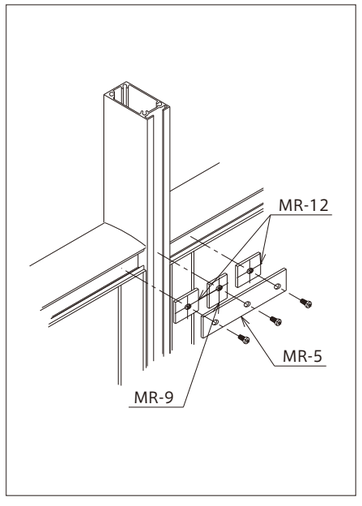
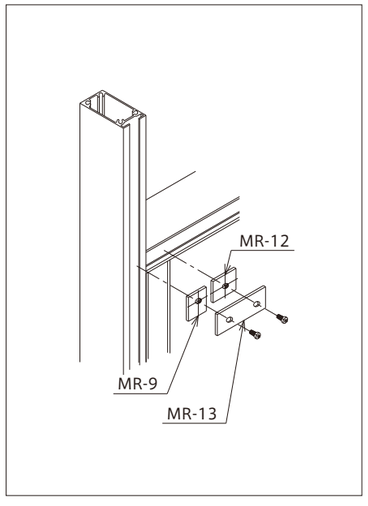
既存柱ー持出



連結ーフラット



MR 柱ーフラット



MR 柱ーフラット